



発行 党員会
日本共産党
春日部市中央
春日部市
7-10-9
電話 736-9933
FAX 736-9991

秋山文和県議会報告



・特養ホーム予算凍結解除 ・原発関連請願が不採択に

6月定例会県議会が7月6日
終わりました

米に事前通知を求め るべきと知事答弁

日本共産党は団長の柳下礼
子議員が、一般質問で①危険
なオスプレイ配備撤回を②東
海第二原発の再稼働ストップ
③ホンダ狭山工場廃止撤回へ
県の努力を④障害児のための

放課後を豊かに⑤旧農大跡地
に軍需産業誘致すべきでない
⑥県立高校廃止計画はやめる
べき⑦県立病院は地域医療に
貢献を、など取り上げました。

上田知事は、CV22オスプ
レイが所沢通信基地に離着陸
したことに関し「主権国家と
して日本政府は米国側に事前
通知を求めるべきだ」と答弁
しました。また東海第二原発
に関し「距離は80キロメート
ル。福島第一原発は180キ
ロメートル」として東海第二
の事故で「本県にも相当な被
害が及ぶことが想定される」
と答弁。再稼働については

「できるだけ慎重に行うべき」
としつつ、「隣接県の知事が
軽々にものをいうのはいかが
なものか」と答えました。

議会運営委員会(秋山文和
議員所属)では、すべての原
子力発電の廃止などを求めた
請願(2月議会からの継続審
査)など原発関係の3請願を、
討論も認めずに不採択としま
した。請願に賛成したのは日
本共産党だけでした。

「再稼働意見書」に

抗議・意見が186件

昨年12月定例会で、全国に
も例がない「原発再稼働を求
める意見書」が自民党・県民
会議によって可決されました。
この意見書について採択以来、
抗議デモが行われ、県内外か
ら186件の抗議・意見が議
長あてに寄せられていました。
今議会には新たに「老朽化し
た東海第二原発の運転期間延
長させないことを国に求める

請願」2件が提出され、環境
農林委員会で審査。共産・立
憲・公明・県民・改革が賛成
しましたが、自民の反対で不
採択となりました。

2月定例会の予算特別委員
会の付帯決議(自民提出、改
革の賛成)により特別養護老
人ホームの整備費が執行停止
になっていました。医療生協
や社会保障推進協議会などの
要望もあり、県民の批判が強
いことから執行停止は解除と
なりました。

自民党は、上田知事が全国
知事会長になったことについ
て「全国知事会の認識を問う
決議」を強行しました。「多
選自粛条例」を破って四選し
た知事を会長に選任したこと
は「条例違反の事態を迫認し
ているに等しい」と批判。共
産党は、立候補は個人の自由、
選ぶのも県民の自由、議会の
品位を下げ、全国の知事から
笑われる、と反対しました。

この世に生まれた命、かけがえない大切な存在

山形県立こども医療療育センターを視察

10日、日本共産党市議団6名は、山形県立こども医療療育センターを視察しました。

ふじ学園建替えで対象児童は

春日部市の児童発達支援センター「ふじ学園」は、バリアフリーでないため、これまで車いす対応などの必要な児童は利用できませんでした。日本共産党市議団は建て替えを何度も提案し、重い障害の児童も受け入れられる施設とするよう提案してきました。

2021年度から、八木崎駅近くの旧税務署跡地に、保育所、病児保育と合わせ

た複合施設として、新しく児童発達支援センターを移転建て替えることになりました。

しかし、市はこの間の市民との懇談の中で、バリアフリーとするものの、重度の肢体不自由と、重度の知的障害とが重複した「重症心身障害児」の受け入れはしないとしています。

これまでも、重症心身障害児は民間の児童発達支援センターが受け入れてきました。

重症心身障害児

医療型で対応

山形県立こども医療療育センターは、障害児(者)

の多様化するニーズに対し、総合的な療育サービス提供を目的として設置されています。

外来、リハビリ、入所施設、ショートステイ、生活介護、発達障害者支援センター部門などと連携して、医療型・福祉型の児童発達支援センター(それぞれ定員30名)が設置されています。

福祉型では、言葉や発達に偏りや遅れがある乳幼児が対象です。医療型は、からだの発達に遅れのある乳幼児、「重症心身障害児」も対象となっています。

山形県内5カ所の児童発達支援センターのうち、重症心身障害児の受け入れは、この施設しか行っていません。

総合施設として、医師・看護師・保育士や理学療法士(P.T)、作業療法士

(O.T)、言語聴覚士(S.T)が分担・連携して対応できるためです。

障がい重い子ほど行政が責任を

春日部市の新児童発達支援センターでは、理学療法室、作業療法室兼ねる言語療法室が作られ、P.T、O.T、S.Tが配置される予定です。

山形県の職員は、「これだけの専門職員の配置があれば母子通園などは実施できるのではないか。軽度の子どもは地域の中で健常児とともに成長を促し、重い子どもこそ行政の責任で受け止めるべきだと思います」と述べました。

春日部市も、新施設で、重症心身障害児の受け入れができるよう検討する必要があります。

休日の当番医

市立病院 Tel 735-1261 全国共通ダイヤル(大人と子どもの電話相談・医療機関案内) #7119

7月29日(日) 一ノ割クリニック(小児科系) 備後東1-28-22 ☎731-1771

成松医院(内科系) 上蛭田64-1 ☎763-5211 みやざわ耳鼻咽喉科(外科系) 中央1-52-8 ☎745-8733

8月5日(日) 春日部厚生病院(内科系) 緑町6-11-48 ☎736-1155

安孫子医院(小児科系) 粕壁2-5-1 ☎752-2030 さくら皮膚科(外科系) 中央1-1-1 ☎760-4112